

コンソーシアム名	統計エキスパート人材育成コンソーシアム
中核機関名 総括責任者名	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長 藤井 良一
参画機関名	茨城大学（大学院農学研究科）、大阪大学（数理・データ科学教育研究センター（MMDS））、岡山大学、九州大学（マス・フォア・インダストリ研究所）、群馬大学（数理データ科学教育研究センター、情報学部、社会情報学研究科、保健学研究科）、慶應義塾大学（大学院健康マネジメント研究科）、国立極地研究所（研究教育系、国際北極環境研究センター）、滋賀大学、順天堂大学（大学院医学研究科）、総合研究大学院大学（複合科学研究科）、中央大学、東京医科歯科大学、東京大学（数理・情報教育研究センター）、東京大学（大学院経済学研究科）、東京理科大学、同志社大学（大学院文化情報学研究科）、長崎大学（情報データ科学部）、名古屋大学（大学院医学系研究科）、兵庫県立大学（大学院情報科学研究科、社会情報科学部）、広島大学（高等教育研究開発センター）、早稲田大学（データ科学センター）
実施予定期間	令和3年度～令和7年度
目標・計画の概要	本プロジェクトは令和9（2028）年度までに、大学院（修士相当）で年間約100名の統計エキスパートが輩出可能な仕組みをわが国で確立するために、情報・システム研究機構を中核機関とし、全国大学等を参画機関とする「統計エキスパート人材育成コンソーシアム」を形成し、各参画機関に統計エキスパート育成システムを整備すると共に、参画機関における統計エキスパート育成システムを利用した大学院教育や統計を用いた共同研究を支え得る質保証された統計教員を令和7（2025）年度までに30名以上育成・輩出する。
取組の概要	情報・システム研究機構は、「大学統計教員育成センター（以下、育成センター）」を統計数理研究所に設置する。育成センターは多様な学術分野の若手研究者を最新の統計教育・統計的共同研究を実施可能とする大学教員に育成する「大学統計教員育成システム（教材、カリキュラムマネジメント等を含む）」を開発する。このシステムを基に、原則として参画機関研究者である育成対象者を質保証された大学統計教員に育成する。このため、育成センターは育成対象者にシニア統計研究者をメンターとして割り当て、各参画機関の統計エキスパート育成システムに必要な授業・研究指導・共同研究等を支える力量開発を中心とする育成期間2年の「大学統計教員育成研修」を育成対象者に実施する。本研修は令和7（2025）年度末までに3回実施し、原則として毎回10名以上の育成対象者を受け入れ、必要な力量を有する者に修了認定を行う。育成対象者は、参画機関で並行開発される統計エキスパート育成システム開発もメンターと共に支援し、修了認定後参画機関の統計エキスパート育成システムを支える。事業期間中参画機関を募りコンソーシアムの拡大を図る。このような取組によって、令和7（2025）年度以降、研修修了者1名当たり毎年3名以上の統計エキスパートを育成することが可能となる。コンソーシアム中核機関・参画機関等の有機的連携を通じて、令和10（2028）年度以降、年間100名以上の統計エキスパート（大学院修士修了水準）創出が可能な人材育成エコシステムがコンソーシアム内に完成する。

統計エキスパート人材育成コンソーシアムの概要

【日本の課題】 **統計エキスパート育成が大学統計教員育成機関が僅少のため困難**

【統計学博士号年間取得者数】

年間取得者数 米国600名超 ⇨ 日本5名程度
(統計数理研究所/総合研究大学院大学)

【教員候補数】

アメリカ統計学会19,000名 ⇨ 日本統計学会1,400名
(内経済系700名)

【統計学部の数】

- ・アメリカ：138学部(大学院研究科=146科)
 - ↳ 一部の大学はデータサイエンス学部化
 - ↳ また、統計学科・生物統計学科の2学科設置も有
- ・イギリス・韓国：50学部程度
- ・中国：300学部超(米中では統計学部が急増)
 - ☆ アジア・中近東・アフリカ諸国でも統計学科は存在
- ・日本：専攻(博士後期課程)レベル⇨ 総研大統計科学専攻のみ(定員：5名)

【事業の背景】

AIを支える現代統計学の教育研究指導可能な大学統計教員と大学院レベルのエキスパート育成システムが欠如

【事業の概要】

大学統計教員育成システムと大学院での統計エキスパート育成システムを同時開発し、大学統計教員育成研修を実施
 ⇨大学統計教員の育成
 質保証された大学統計教員を大学の統計エキスパート育成システムに投入
 ⇨統計エキスパートの育成

データ社会における国際競争力低下

実施事業

統計エキスパート育成システム＋
 大学統計教員育成システムからなる
 統計エキスパート育成エコシステムの開発と運用

コンソーシアムが目指す統計エキスパート育成エコシステム

